

科目ナンバー	D9703	要件	教職必修	授業形態	実習演習	対象学生	I A B I I C D
授業科目	幼稚園実習 (含、事前・事後指導)						
実施期	4期 通年	単位数	5単位	授業者	中田 章子		

【科目の概要】

幼稚園実習の意義・目的を理解して幼稚園実習に臨めるようにする。授業で学んだことを子どもと実際に向き合うことで理解を深めるとともに、個々にフィードバックを行いながら、実習に必要な指導計画についての知識や日誌の書き方を学ぶ。また、自分自身の目標や課題を明確にして実習に臨み、保育に必要な知識や技能、態度等を学ぶ。

【この科目を通して獲得を目指す力】

【関連DP】

ア	幼稚園教育及び保育者の役割について基礎的な知識を身に付けている。	1-c
イ	実習先の子どもや保育者等とコミュニケーションが築けるよう、正しい言葉遣いや礼儀作法などの望ましい態度を身に付けている。	2-b
ウ	保育の組み立てや保育者の配慮等がわかり、保育を想定して実習日誌を記入することができる。	3-a
エ	子どもとの関わり方や発達に応じた保育展開への関心を高め、自己課題を明確にして実習に向けた心構えができています。	4-d

【授業の内容】

【実施日】

【授業時間外学習の内容】

1	1年次の幼稚園実習の内容と見直し	月 日	『実習の手引き』の関連ページを熟読しておく。(0.5時間)
2	幼稚園教育のねらい及び内容	月 日	『幼稚園教育要領解説－ねらい及び内容』を読んでおく。(0.5時間)
3	園生活の一日の流れ・見学実習に必要な心得と準備	月 日	見学実習のポイントを理解しておく。
4	見学実習	月 日	見学実習後の学びを整理し、発表できるようにまとめておく。(0.5時間)
5	見学実習の振り返りについて発表・2年次の実習依頼の手続きと手順	月 日	実習希望先を調べ、希望先資料を作成する。(0.5時間)次回提出。
6	2年次実習依頼先資料の作成と依頼電話のかけ方	月 日	実習依頼の確認をとり、実習依頼先資料を作成する。次回提出。
7	実習園への訪問の仕方と実習カードの作成	月 日	実習依頼園についてインターネット等で調べておく。(0.5時間)
8	実習園訪問時の詳細及び持参書類の確認 (獲得を目指す力の確認)	月 日	実習先の訪問に向けて、各自シュミレーションを重ねておく。
9	1年次実習の意義と目的・教育環境としての保育者の在り方	月 日	『実習の手引き』『幼稚園教育要領解説』の関連ページを読んでおく。(1時間)
10	3歳児の実態と保育展開・観察実習時の日誌の書き方	月 日	『実習の手引き』の日誌参考例を確認しておく。3歳児の発達段階について調べておく。(1時間)
11	4歳児の実態と保育展開・観察実習時の日誌の書き方	月 日	4歳児の発達段階について調べておく。(0.5時間)
12	5歳児の実態と保育展開。観察実習時の日誌の書き方	月 日	5歳児の発達段階について調べておく。(0.5時間)
13	保育者の援助の意図とその読み取り・実習日誌の記入	月 日	想定した保育の日誌を記入する。(1時間)
14	教材研究と演習(発表)	月 日	絵本、手遊びの発表ができるように準備しておく。(1時間)
15	実習時に必要な関係書類とオリエンテーションの記録	月 日	実習ノートやその他の資料を確認しておく。(0.5時間)
16	実習に向けた心構えや準備の確認	月 日	実習園について情報を確認しておく。手引き・資料を読み返す。

【教科書・テキスト】

幼稚園教育要領解説 実習の手引き(本学発行)

【成績評価の方法】

授業への意欲・態度30% 提出物・レポートなど70%

【参考書・教材】

適宜資料を配付する。

【履修要件及び履修上の注意事項】

『つどいの広場』又は『ちびっこ広場』に1回以上参加すること。
本学の実習内規の要件を満たしていること。(教職必修・成績評価等) 16回目の授業終了後1年次実習を実施する。
授業用のノート(A4サイズ)を作り配付物を整理して、活用するために毎回持参すること。

【履修上の遵守事項】

幼稚園実習に直結する授業なので、遅刻、欠席は厳禁。
やむをえず欠席した場合は、授業内容を必ず確認に来ること。

【連絡先・オフィスアワー】

連絡先：N4(中田)研究室

オフィスアワー：

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア①	幼稚園教育のねらい・内容や園生活の流れ等の基本的な知識		幼稚園教育の一年や一日の生活の流れについて、概要を述べることができる。	幼稚園教育の基本やねらい及び内容について、説明することができる。	幼稚園の現状や課題等について、自分なりの考えを述べるができる。
ア②	幼稚園実習の意義や保育者の役割についての理解		実習の意義や目的について述べるができる。	保育者の役割や職務について説明することができる。	幼稚園実習に向けて保育者としての自らの課題を自覚し、解決に向けた行動ができる。
イ①	実習の流れや必要な留意事項についての理解		実習依頼やオリエンテーションの受け方など、実習に必要な流れを述べることができる。	実習依頼やオリエンテーションなど、流れに沿って必要な手続きができる。	実習に関して、チェックすべき事柄や質問などについて整理し、もれ落ちなく対応できる。
イ②	実習で必要な言葉遣いや態度などのコミュニケーション力		保育者としての正しい言葉遣いや望ましい態度について、述べるができる。	実習依頼園に対して、正しい言葉遣いや望ましい態度で対応することができる。	保育者となるための資質を身に付けるため、日常的に正しい言葉遣いや態度を意識して行動している。
ウ	保育を想定した実習日誌の記入		環境構成・子どもの活動・保育者の援助などの記入内容がわかり、必要な欄に記入することができる。	模擬保育をもとに、保育者の援助の意図を読み取って記入することができる。	想定した保育について、ねらい・環境構成・子どもの活動・保育者の援助を記入することができる。
エ	子どもとの関わり方や保育展開への関心		子ども理解や保育者として身に付けなければならないことに対して、考えを述べるができる。	実習に向け自己課題に対してチェックを重ね、意識の変化や向上点を述べることができる。	実習での保育参加に向け、絵本や手遊び、ピアノ曲などの教材準備ができています。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					